

## 2023年度 地域みらい想像委員会・Next Innovation 委員会 運営方針

地域みらい想像委員会・Next Innovation 委員会担当副理事長 大森 健之

日立青年会議所は「明るい豊かな社会を築き上げる」ことを目的とし、日々運動をしています。そしてメンバー一人ひとり、その活動の中で同じ志を持った仲間とともにお互いを高め合い、友情を育み、地域の課題に対して果敢に挑戦することで、より良い社会の実現へ向かって、地域を牽引するリーダーと成るべく成長を続けています。

今、我々が生きている現代社会は急速にデジタル化が進んでおり、数年前までは想像をすることしか出来なかった技術や世界が次々と現実的なものになっています。しかし、このような社会の中だからこそ我々は地域の未来を想像し、日立に住み暮らす市民に対して、変わりゆく社会の中でも変わることのない郷土愛や感謝の気持ちを醸成し再認識していただけるような事業を行う必要があります。さらに、他団体とも今まで以上に連携を図り運動を展開することで、地域のつながりを強固にし、日立青年会議所の存在をより広く発信できます。また、未来を生きる子どもたちに対しては、変化に惑わされず夢と希望を持ち、自ら未来を切り拓く力を養うために、ICT を様々な気付きや学びを得られる機会を提供し体験していただくことで、新しい時代の突破口となるような子どもたちの育成へとつなげてまいります。

多くの市民に共感していただき共に運動をしていきたいと思っただけの事業を行うことが「明るい豊かな社会を築き上げる」ことにつながると信じ、誇りを持って1年間運動に邁進してまいります。

## 2023年度地域みらい想像委員会基本方針・事業計画

担当副理事長 大森 健之

委員長 落合まゆり

副委員長 河原 一彰 木本 圭亮 新田 瞬

委員 荒川 和仁 鎌田 愛未 菅野 晴輝 櫻井 恵 長井 正之

長嶋 克

### <基本方針>

日立青年会議所は、明るい豊かな社会の実現という理念のもと、郷土愛を醸成し、地域を活性化させるために様々な活動や運動を展開して参りました。有事の際に市民は正しい行動をとれるのか、私たちは今一度創始の精神を深く胸に刻み地域の課題に真摯に向き合い、人口減少や少子高齢化など地域を取り巻く状況も年々厳しさを増して、地域の未来に必要なものが何かを能動的に考え、時代の流れを把握した運動を展開する必要があります。

まずは、持続可能な強い地域を作るために、災害の恐ろしさを今一度認識してもらい、日常生活において防災に対する意識の向上を図ることで、市民に対して自発的・能動的な取り組みを促します。そして、被害を最小限に抑えるために、地域の親子に対して災害発生時だけでなく段階に応じて臨機応変な行動を知り、実際に楽しみながら体験していただく機会を提供することで、自助と共助に関する最適な対応力を身に付けることが出来ます。さらに、より良い社会づくりを目指すために、人と人が心をつなぎ手を取り合いパートナーシップを強化していくことで、コミュニティ不足の解消につなげます。また、私たちが先頭に立ち地域の未来へ希望を持ってもらうために、市民の声に耳を傾け企業や行政を巻き込むことで、この地域に住み暮らす人々が子どもを産み育てたくなる社会の実現につなげていきます。そして、幅広い世代のニーズに対応し先導していくことができる格好良い組織となるために、行政や地域で活動している各種団体と積極的に連携を図り、相互の関係をより強固なものにすることで、地域に根差したさらに魅力溢れる組織となります。

運動を成し遂げた後に組織への帰属意識がさらに高まり、たくさんの気づきや学びで共に成長し、この住み暮らすまちの明るい未来は、人々の笑顔で溢れる魅力的なまちとなり、日立市は多くの人々が集う活気あふれる揺らぐことない持続可能な強い地域となります。

### <事業計画>

- 1) 積極的な会員の拡大
- 2) 3月例会の主管
- 3) 5月例会の主管
- 4) 10月例会の主管
- 5) オリエンテーションの実施

## 2023年度 Next Innovation 委員会基本方針・事業計画

担当副理事長 大森 健之  
委員長 山縣 広希  
副委員長 有川 貴康 兼目雄一朗 小室 勇太  
委員 鵜木 宏介 大澤 誠之 大森 悠平 川崎 文聡  
黒澤 雄一 北條 泰樹

### <基本方針>

加速化するデジタル社会において、私たちが想像していた未来が現実のものとなり、幼い頃からITに触れる機会が多く、それに伴い生活様式や常識、価値観が世代間で大きく乖離している現状があります。事業を通して多くの団体や世代と交流を行ってきた青年経済人として、我々が世代間の架け橋となり、子ども達には様々な体験を通して、気づきや学びを得てもらい、時代の変化に対応し、夢や希望を持って未来を切り拓く力が必要です。

まずは、これからの時代を担う若い世代の働くことに対する考え方を知るために、青年経済人として意見を交わし、お互いの価値観を理解し尊重することで、世代間による考え方の違いを無くします。そして、働く意義を見つけ自らの進む道を切り拓くために、様々な職業や役職など経験豊富なメンバーが将来を示し、具体的な未来図を描くことで目標へ向かって突き進むことができます。さらに、子ども達に夢や希望を持って未来を切り拓く力を養ってもらうために、課題の解決へ向かって適切な回答を導き出せるプログラミング的思考を学ぶ機会を提供することで、自ら考え行動できる人財の育成へとつなげます。また、社会情勢が劇的に変化していく中においても失敗を恐れずに新たな試みへ果敢にチャレンジする精神を養ってもらうために、時代の流れに柔軟に対応し、行動できる力を身に付けることで、新しい時代を乗り越えられる子ども達の育成へとつなげていきます。そして、より良い未来を信じ邁進し続ける我々の活動を最大化するために、JCだからこその体験を家族にも提供し、日々の活動に対しての理解と信頼をより確かなものにします。

新たな価値の創造によって、デジタル社会に順応した子ども達がICTなどを活用していき、現在の社会情勢の不安を払拭し、新たな時代を生き抜く糧となり、今後も発展していく日本を牽引し得る明るい豊かな社会の創造の担い手へと成長してくれると確信します。

### <事業計画>

- 1) 積極的な会員の拡大
- 2) 4月例会の主管
- 3) 8月例会の主管
- 4) 11月例会の主管
- 5) オリエンテーションの実施